

## メンタルヘルス対策を重視したプログラム

健康経営推進に欠かせないのが、職員のメンタルヘルス対策です。本会では、メンタルヘルス対策のためのコミュニケーション活性化を重点施策としています。「健康経営推進担当者会議」では、各部署健康経営推進担当者企画による活発なコミュニケーションのためのレクリエーションも実施されました。



数字をイメージで表現して意思疎通を図るカードゲーム「ITO」を楽しむ管理職メンバー

### 参加者の声

管理職として、健康経営推進を誇りに思う！

健康経営に関する知識が深まり、今後の課題が発見できた

レクリエーションでリラックスしたからか、活発な情報交換ができた

介護離職問題の動画を視聴して、さまざまな状況にあるスタッフをサポートする重要性を実感した

レクリエーションやワールドカフェ楽しく盛り上がった

活発なコミュニケーションができてよかった

他部署との交流が深まった！

ゲームを通じて日頃の課題や問題を気軽に共有できる雰囲気になった

健康経営の取り組みを一層推進していきたいと思った

健康経営の意義を改めて認識し、今後の取り組みへのモチベーションが上がった

## これからの取り組み

今回の「健康経営推進担当者会議」の意見交換や感想から、これまで取り組んできた健康経営推進施策の成果が少しずつ形として表れて、職員全体の健康状態が向上していることが感じられました。

一方で、育児や介護をしながら勤務する職員も多くなってきました。また、高齢労働者も増えてきました。今後はより一層、互いに協力し合い、助け合う、誰もが働きやすい職場づくりに向けた取り組みが求められています。困りごと、悩みごとを抱え込むことのないよう、話す機会、集う機会を意識的に設定する必要があることがわかってきました。

業務の性質上、柔軟な働き方が難しい部署もあることから、デジタル化の促進なども含めた人手不足への対応も欠かせません。今後、DX推進と対面のケアをバランスよく交えて取り組んでいくことも重要です。

これらの現状を踏まえ、本会では、誰もが元気に生き生きと働ける環境づくりに今後も力を入れていきます。

始めています！

# 健康経営

本会の取り組みを紹介します



## 第10回

## 健康経営推進担当者会議

本会はすべての職員の心身の健康を「本会の経営にとって重要な基盤」と位置づけて、健康経営への取り組みを積極的に進めています。今回は、昨年9月に開催した「健康経営推進担当者会議」についてご紹介します。

## 健康経営推進担当者への教育・支援

本会の健康経営活動の計画立案・評価、常勤理事会への施策提言などを担う健康経営推進室（写真）。メンバーは、健康経営事業責任者（理事長の久布白兼行）、健康経営実施責任者（理事の矢島晴美）、産業医、保健師、安全衛生委員会、総務部、広報室、健康経営アドバイザー、従業員代表という構成です。

そして、実際の健康経営推進施策の実践の推進、実施状況の把握、健康経営推進室への報告・相談などを行う「健康経営推進担当者」の役割を担っているのが、各部署の課（科）長です。そこで、本会の健康経営推進のキーパーソンである「健康経営推進担当者」に「健康経営推進担当者会議」を通して健康経営に関する教育・支援を実施しています。

今年度の「健康経営推進担当者会議」は、9月18～19日の2日間で開催。初日の課（科）長向け会議には19人が参加、2日目の部次長向け会議には14人が参加しました。



**PROGRAM**

**当日のプログラム(抜粋)**

- 13:20～ | レクリエーション/ワールドカフェ※
- 14:30～ | 動画視聴「介護離職を乗り越える」
- 15:00～ | 講演「健康経営2024の振り返りと2025に向けて」
- 16:10～ | 個人ワーク  
(感想、悩み、今後取り組みたいことなどを共有)

※ワールドカフェ:カフェのようなリラックスした雰囲気です自由に意見を出し合う場

\*「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。